



なんぶの風

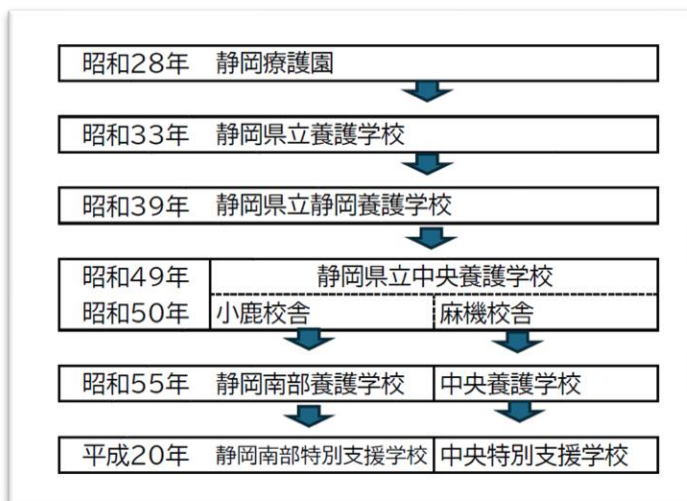
感謝と希望～「ありがとう」と「わくわくするね」～

校長 川崎 みどり

令和8年度、小学部に1人、中学部に1人の1年生と転校生1人を迎え、小学部4人、中学部2人、訪問教育2人の計8人でスタートしました。

そして本校は、令和9年3月末をもって閉校となります。そこで、この一年のテーマを「感謝と希望」と決め、こどもたちには『ありがとう』と『わくわくするね』を合言葉にしていくことにしました。

昭和28年、「静岡療護園」開設と共に、当時の施設長が「療養中の園生の義務教育が空白にならないように」と近隣の静岡市立西豊田小学校、同豊田中学校の特殊学級が施設内に置かれ、教育を開始しました。その後、昭和33年静岡県立養護学校が設立され、本校が始まったと考えられます。



開設後、療護園に入所している肢体不自由の児童生徒だけでなく、通学する児童生徒が多くなっていきました。

昭和50年、現在の漆山に新校舎が完成しました。

通学する児童生徒が「麻機校舎」に通い、静岡療護園による医療・訓練を必要とする児童生徒が「小鹿校舎」に通うことになりました。

時代の流れと共に、医療・福祉が発展し、車で移動しやすくなったなど、様々な理由があったと思われますが、隣接する済生会療育センター令和に入所する児童生徒数は減少傾向にありました。この現状を重く受け止め、本校児童生徒の集団での学びを確保することを優先に検討していった結果、このような決断となりました。

このような歴史のある学校が閉校となることは真に遺憾ではありますが、目の前にいる児童生徒の教育を大切に考える理念は変わらないと思っています。

本校の児童生徒は令和9年4月から市内の中央特別支援学校に通学することとなります。入所後、社会経験も少ない児童生徒にとって、通学という新たな環境に不安を感じるかもしれません。地域の方との交流や体験から自己肯定感を高め、中央特別支援学校への交流、体験から、通学に対する不安をできるだけ軽減していきたいと考えています。また、新しい学校に期待し、楽しみを感じられる日々していきたいと思っています。

今年一年、変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。



最終回！ 静岡東ロータリークラブとの交流

今年も静岡東ロータリークラブから花の苗などをたくさんいただき、皆さんと交流会を行いました。児童生徒は好きな色の花を選び、土や花の感触をじっくり味わったり、皆さんとたくさん話したりしながら、苗を植えました。植えた後には「できたね！」との言葉があちこちから聞かれ、ほほえましい関わりができました。

この交流は、32年間と長期に渡って続いた、伝統ある交流です。閉校のため、残念ながら今年度が最後となりました。児童生徒からは、感謝状と中学部の作業製品、歌のプレゼントをし、「ありがとう。」の気持ちをたくさん伝えることができました。



地域3ヶ所に 作品展示をしています

本校児童生徒が制作した図工・美術の作品を、JA 静岡市本店、静岡市立南部図書館、静岡市健康文化交流館 来・て・こ の3ヶ所に展示させていただいています。児童生徒の創造性あふれる、そして、見ると、にっこりほっこりするような作品が展示してあります。ぜひ御覧ください。なお、今年度の展示は、12月までを予定しています。



JA 静岡市本店



南部図書館



来・て・こ

大切な お知らせ

本校は、令和9年3月31日をもって閉校することになりました。

長い間、地域のみなさまには、教育活動に御理解御協力を賜り、ありがとうございました。この1年を、全員で最後まで、精一杯頑張ります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も、この「なんぶの風」では、本校の教育活動の様子をお知らせします。御覧になった感想や、閉校に向けてのメッセージ等、ぜひお寄せください。(アンケートフォームでは、通信料がかかります。御了承ください。)

<https://forms.gle/rSokM4aCER5M9N2e6>

